

最優秀賞

「医療法人 高原医院」



▶建設地:上伊那郡南箕輪村5586-2
▶構造・規模:木造平屋建て
延べ328.02㎡
▶工事期間:平成23年2月4日
~平成23年8月23日



高原医院(整形外科)は伊那インターと伊北インターを結ぶ春日街道沿いに建つ。中央・南の両アルプスを同時に見渡せる素晴らしい眺望を、道行く人と建物利用者双方が享受出来るため、高さを抑え水平ラインを強調した平屋建ての建物とし、片流屋根を組み合わせて背景に溶け込ませるよう配慮した。前面道路の交通量が多いこと、伊那谷特有の南北の風が非常に強いことを考慮して中庭に大開口を設けた口の字型の平面となった。最も景色の良い南アルプス側には施主の希望を取り入れ待合室とリハビリルームを設けたが、杉板製の打ち放しコ

■設計 HAL 設計室

代表 荒井 洋
〒390-0876 松本市開智 1-5-13
TEL・FAX 0263-33-6186 <http://www.hal-net.jp/>

■施工 宮下建設株式会社

代表取締役社長 宮下 金 俊
〒396-0006 本社 伊那市上牧 6474
TEL 0265-72-3191 代 <http://www.miyashita-kensetsu.co.jp>

最優秀賞

A_House『根羽杉でつくる三世代住宅・うちそとをつなぐエコハウス』



▶建設地:飯田市松尾
▶構造規模:木造二階建て
▶工事期間:平成23年5月~
平成23年11月



冬の晴天率の高い伊那谷の気候と森の恵みを活かす、環境デザインの手法で生み出した外観。一間ビッチの構造モデュールを厳格に守ったプランにより、ゆったりした屋根勾配そのままでの登り梁が映える構造即意匠の豊かな室内空間を生み出しています。田園風景が広がる南北方向に主室を配置。それにより三世代同居のそれぞれの居場所が奥行き深い変化に富んだものになった。冠雪した南中央アルプス、季節毎の彩りが美しい田園景観等が、この住まいの生活をいっそう豊かにしてくれる。OMソーラーを基本として、エアカンが無いLDKの夏は夜間蓄冷ファンでナイトバードを行い、冬は小型薪ストーブと大きな開口部よりのダイレクトゲインを土間床や煉瓦の壁面に蓄熱する。雨水は石臼のつくばいで見える化した後、地下浸透。『信州理の住まい』認定住宅

■設計 新井建築工房 +設計同人NEXT

一級建築士 新井 優
JIA日本建築家協会会員・伊那谷の森で家をつくる会会員
事務所/飯田市松尾代田1324-1 TEL 0265-24-2131
<http://www.3.ocn.ne.jp/~arainext/>

■施工 大蔵建設株式会社

代表取締役 大蔵 実
本社/飯田市丸山町2-6732-13 TEL 0265-24-6464
<http://www.avis.ne.jp/~om-okura>

■木材納入 根羽村森林組合

組合長 大久保 憲一
事務所/下伊那郡根羽村407-10
TEL 0265-49-2120 FAX 0265-49-2432
木材加工施設/下伊那郡根羽村398-2
TEL 0265-49-2848 FAX 0265-49-2432

優秀賞

「寿量院本堂」



▶建設地:諏訪市大和1丁目11-17
▶構造・規模:W造平屋建て、
延べ281.55㎡
▶工事期間:平成22年9月23日
~平成24年1月5日



■設計監理 有限会社 下倉設計

代表取締役 下倉 孝 繁
〒391-0002 茅野市塚原2-16-10
TEL 0266-73-8171 FAX 0266-73-8271

■施工 スワテック・石田組建設共同企業体

SWATEC
スワテック建設株式会社
取締役社長 岩波 寿 亮
〒392-0017 諏訪市城南二丁目 2353
TEL 0266-52-4343 FAX 0266-52-4347

株式会社 石田組
代表取締役 石田 喜 章
〒392-0012 諏訪市四賀 792
TEL 0266-52-1689 FAX 0266-58-3571

施主より、「木造で末永く後世に残る建物」との事から当本堂は現行建築基準法を十分考慮した上で諏訪に伝わる社寺建築の技法である大隅流の木割と木組を用いた伝統工法による設計とし、施工することで職方にも代々受け継がれてきた伝統工法の技術を伝承できうる監理をした。向拝に「尾掛松」の伝説にちなんだ親子龍をはじめ、長寿と繁栄の象徴である鶴と亀、人生の登竜門を表す滝を登る狸などの数々の彫刻を施し、本堂内にも外陣天井周りに千支十二支を、大縁正面欄間には竣工後に「阿彌陀二十五菩薩来迎図」を設ける事の出来る構想とし、壇信使が永遠に関わり、その経過、由来が語り種となっていけるよう配慮した。景観上では、本堂として威厳のある物とするため、庫裡を経由した経路にスロープを配することで、古来からの容姿を保つ基壇、高欄を設け参道からの床高1700mmとしながらもバリアフリーに対応、エコを考慮し部分使用可能な電気式床暖房を採用した。

現代に伝統技術を
息づかせる

平成25年度 建築作品賞 受賞作品紹介

地域の環境に調和しながら 新しい風景を立ち上げる

建築作品選考委員会

委員長 柳澤 孝彦 (株柳澤孝彦+TAK 建築研究所代表取締役)
委員 土本俊和 (信州工学大学教授)
川船昌子 (㈱アキツ代表)



総評

平成25年度建築作品選考委員会
委員長 柳澤 孝彦



作品選考委員会は、例年と同じく土本(川船)柳澤の3名の委員により平成25年3月16日(土)午前10時より午後3時までの5時間をかけて塩崎貞夫副会長、中澤栄二常任理事のお立会いのもと行われ、選考は日事連建築賞の評価基準に基づき審議を重ねた結果、最優秀賞2点と優秀賞1点を選出した。応募作品数は9点で、住宅3点、医院2点、交流館2点、寺院1点、老人ホーム1点であった。最優秀賞に選出されたA_House 根羽杉でつくる三世代住宅・うちそとをつなぐエコハウス(および、高原医院)は完成度も高く設計コンセプトが明確に建築に反映されている秀作で選考委員会の推選もゆるぎないものであった。いずれも建設地域の環境に調和しながらもそこに新しい風景を立ち上げている様に存在の意義を見いだし得ることが出来る美事な作品である。優秀賞の「寿量院本堂庫裡建設工事」は古来からの伝統的な様式をまとった寺院建築である。伝承されてきた表現技術が現代に受け継がれていく貴重な現場であり、向拝に彫られた彫刻を見てもいまだに伝統技術を息づかせることのできる彫師や職人の手業や美意識が注目される好機である。想えばはや2年の月日が経つ東日本大震災の現場では、なにも変わらぬところか、むしろ荒廃の一途をたどる景色に心が痛む。かような情景を想うにつけても、新しい建築の誕生に立ち会う建築設計者の心おたやかならざるを得ないと思うのは私一人だけではない。人々のくらしの記憶の証は街であり、建築であることを忘れるわけにはいかないから。このたびの応募作品に注がれた設計者の英知に敬意を表するとともに貴重な建設の機会を与えていただいた建築主各位に心より感謝の意をあらわし、一般社団法人長野県建築士事務所協会の発展と会員のますますの活躍を祈念し総評とする。